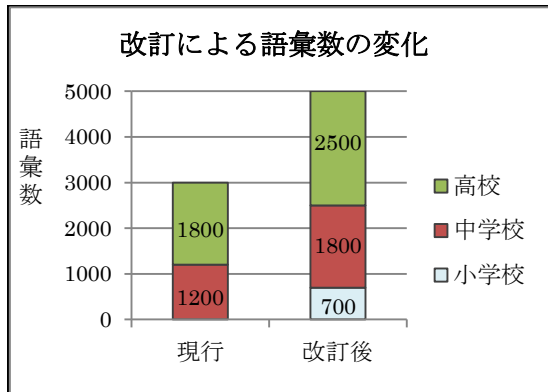


< 中学英語 >

- ◆ 2021年から中学校で新学習指導要領が全面実施。
- ◆ 授業時間数は、年140時間で現行と同じ時間数。
- ◆ 小学校で学習した語に 1600～1800語程度の語を加えた単語を扱う。
- ◆ 授業は英語で行うことを基本とする。

語彙数の増加



中学校では、小学校で扱った単語に1600～1800語の新語が加えられることになった。高校卒業レベルで見ると、2000語程度の大幅な増加となっている。

対話的な活動を重視

目的・場面・状況に応じて、情報や自分の考えを伝える対話的な活動を重視。ペアワークやグループワークを取り入れた授業展開が挙げられている。

小学校との連携を高める

小学校では音声によるコミュニケーションが重視され、読み書きは慣れ親しむレベル。中学校では音声に加え、文字によるコミュニケーションを図ることが重視され、言語の使用場面には「手紙や電子メールのやり取り」が新たに追加された。

また、小3から小6までに扱った語句や基本的な表現を繰り返し指導するようにする。

授業は英語で行うことを基本とする

生徒に英語の使用をいかに促すか、という趣旨のもと加えられた。説明や発問の簡単な語句や文での言い直しや、ICTの活用が促されている。

高校からの移行内容

○ 感嘆文

既に中学校で一般的な言語材料として扱われている実態があり、追加された。

- ・ How interesting!
- ・ What a big tree!

○ 原形不定詞

既に小学校において、「Let's ～.」や「Let me try!」等の表現に触れている実態があり、追加された。

- ・ Will you let me try?
- ・ I helped my father wash the car.

○ 仮定法のうち基本的なもの

- 表現の幅を広げるために追加された。

- ・ If I were you, ～.
- ・ I wish ～, ～.

- 正しい表現で相手に考えや気持ちを伝えるために、追加された。

(従来の直説法を用いた条件文)

If I have my own computer, I can get some information on the Internet.

→ コンピュータが欲しいのか、持っているが今手元にないのかが不明。仮定法を用いることで、より正確に伝えることができるようにする。

○ 現在完了進行形

「継続」用法を表す際に、現在完了形より適切に表現できる場合があることを考慮し、追加された。

- ・ It has been raining since this morning.
- ・ Masashi has been playing soccer for two hours.